



(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であることから県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	46	
需用費	194	消耗品費 171 燃料費 23
役務費	125	
委託料	3,681	工事委託料 3,681
工事請負費	132,284	屋上・外壁改修工事 121,017、ポンプ更新工事 11,267
合計	136,330	

**決定額の考え方**

過去の落札率等を勘案して、5%減額し、計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画での位置づけを行っている。

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に修繕等を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であることから県負担が妥当である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
屋上・外壁改修工事、給排水衛生設備ポンプ等を令和3年度に更新する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

施設設備の更新事業であるため。

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
岐阜県防災交流センターの自家発電機始動用蓄電池の更新工事及び電気室空調機更新工事を実施した。

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
自家発用蓄電池を更新したこと及び電気室空調機を更新したことにより、停電時の安定的な電源供給を確保することができた。  
電気室空調機を更新したことにより、電気室内の気温を一定にして電気設備を安定的に稼働させることができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	<p>○</p> <p>防災交流センターは県庁舎バックアップ施設として、県サーバーの設置施設として極めて重要な施設であり、建物や付随する設備に不具合・故障が生じる前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する必要がある。</p> <p>また、県有施設であることから、県負担が妥当である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>岐阜県防災交流センターが平成11年に開館してから20年以上が経過しており、今後ますます施設設備の老朽化が進むことが予想される。</p> <p>今後も計画的に改修を実施し、老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消していかなければならない。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>施設設備の老朽化・経年劣化等が進むなか、計画的に改修を実施する必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	